

第3回 低周波音問題刊行小委員会 議事録(案)

A. 日 時 2009年9月1日 火曜日 15:00~17:30

B. 場 所 建築会館 会議室

C. 出席者 石川主査、他11名

D. 提出資料(提出委員名も記入して下さい)

No.3-0 第2回低周波音問題刊行小委員会議事録案

No.3-1 刊行物目次

No.3-2 2.2 低周波音問題の発生状況

No.3-3 委員メール

No.3-4 3.1 加振源

No.3-5 ななめドラム式洗濯機について

No.3-6 3.2 計測

No.3-7 3.3 予測

No.3-8 4 評価に関する現状

No.3-9 5 建築設計の視点からの対応

E. 議事内容

1. 議事録確認(資料3-0)

◇ 承認された

2. 委員追加

◇ 音環境運営委員会より委員1名追加

3. 議論

1) 今後の予定

◇ 次回小委員会時に原稿第一案を完成させ査読、3月脱稿予定

2) 用語の定義

◇ 「低周波音」「低周波騒音」の定義を行うこと

3) 資料 No.3-1(目次)について

◇ 目次_ver03 → 各章担当者の執筆内容にリンク

◇ 目次_ver04 → 主査改定@090901(メールにて送付済み)

◇ 前半部分にて低周波音(周波数 80・100Hz 以下?)の一般事項(基礎知識的な事項)に関して示し、後半部にて建築分野に特化した内容とする

4) 資料 No.3-2(2.2 低周波音問題の発生状況)について

◇ 2006年頃の発表内容

◇ 「低周波音」「低周波騒音」の差別化 ← 章末に騒音分野を付記するのはどうか?

5) 資料 No.3-3 について

◇ 委員提出資料に関する説明

6) 資料 No.3-4(3.1 加振源)について

- ◇ 低周波音(騒音)発生の可能性のある各種設備機器の特性
- ◇ 同章においては多岐に渡る設備機器の特性把握に努め、建築(居住空間)に特化した機器は 4 章(改定前 5 章)にてさらに詳細に記す
- ◇ 今後は「加振源」→「発生源」へ統一(以前のフォーマットに戻します)
- ◇ 送風ファンに関するデータデータを委員から提供

7) 資料 No.3-5(ななめドラム式洗濯機について)について

- ◇ 周波数特性(低周波音領域)に関するコメントも付記

8) 資料 No.3-6(計測)について

- ◇ 環境省の手引書より
- ◇ 苦情対応(発生後)の文面になっているのでは? → 文中に「苦情対応的なマニュアルであり—」を追記
- ◇ 事前対策に関しては後半(新 4 章)にて示す
- ◇ 騒音計の FAST・SLOW: 10Hz 以下程度の低周波音域に留意する場合には「SLOW」にて計測 ← 後半明記

9) 資料 No.3-7(予測)について

- ◇ 具体的な実測事例は新 5 章(事例集)にて示す(5 章〇〇参照のこと等の表記)
- ◇ 新 4 章にて受音面と計測機器の距離の問題、低周波音による合わせガラス・複層ガラスの共振の問題を付記

10) 資料 No.3-8(評価)について

- ◇ 複数の周波数成分を有する広帯域低周波音研究の具体的な実験結果の明記も必要では?
- ◇ いくつか図面を追加した方がよいのでは?

11) 資料 No.3-9(建築設計の視点からの対応)について

- ◇ 前述各章の内容のうち、建築分野に特化した項目をピックアップ
- ◇ 周波数帯域ごと(200Hz 程度まで・低周波音・超低周波音から振動)の評価も必要では? ← 周波数的な連続性にも留意
- ◇ 居住形態別に設計留意点をまとめるのはどうか? ← 都市部集合・都市部戸建・郊外集合・郊外戸建等

4. 次回以降の課題

- ◇ 責任者を中心に各章を執筆・検討
- ◇ 10 月 23 日までに各章第二稿を新藤までメール添付ファイルにて送付

5. 次回開催予定

- ◇ 2009 年 10 月 26 日(月) 17:30~ 本会会議室

6. 他(連絡事項等)

- ◇ なし